

# 北勢バイパス 要望書



平成29年 11月

北勢バイパス建設促進期成同盟会

会長 森 智広

四日市商工会議所

会頭 種橋 潤治

# 要 望 書

平素は、北勢バイパスの整備促進につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

国においては、防災・減災対策や老朽化した社会インフラ対策など、国土強靱化の推進を重点的に取り組まれております。

私ども同盟会会員市町といたしましても、防災・減災対策や道路施設の老朽化対策など、住民生活の基盤となる安全・安心なまちづくりに積極的に取り組んでいるところです。

四日市市を中心とした北勢地域は、石油化学・半導体・自動車をはじめとした多様な産業が集積し、国際拠点港湾四日市港と高速道路網が相まって、我が国の経済・物流を支える拠点地域となっています。

しかしながら、日常的に発生している国道1号、23号の渋滞は、経済活動の阻害要因となり、生活環境の悪化にもつながっています。

また、平成26年3月に四日市市等の沿岸市町が、南海トラフ地震津波避難対策の特別強化地域の指定を受けており、防災の面からも津波浸水被害を受ける恐れのある国道1号、23号に代わる緊急輸送道路（命の道）として、北勢バイパスの早期整備が必要です。

一方、北勢バイパスが開通した区間においては、沿線企業の設備投資や新たな雇用創出などのストック効果が現れています。さらに、平成33年に「三重とこわか国体」が開催されることもあり、地域経済の発展や広域的な道路ネットワークの形成のために、ますます重要性が増しております。また、三重県全体を考えた場合、県内の南北軸として北勢バイパス及び中勢バイパスが共に開通することで、県全体としての整備効果も最大限発揮されます。

よって、北勢バイパスの整備をはじめ、産業活動と住民の安全・安心な生活を支える各種道路整備並びに道路インフラの老朽化対策に必要な予算を確保されるよう右記の通り強く要望いたします。

## 記

- 1 北勢バイパスは、新たな道路ネットワークの構築による経済の好循環を図り、新規企業の進出や企業の設備投資などの産業面のストック効果を更に高めることから、早期全線開通に向け、平成30年度当初予算において必要な事業費を確保すること。
- 1 道路の老朽化対策及び地方が必要とする道路整備を計画的かつ着実に進めるため、道路関係予算総額の拡大、平成29年度補正予算の早期編成を図ること。

北勢バイパス建設促進期成同盟会 会長 森 智広

会員市町	四日市市長	森 智広	鈴鹿市長	末松 則子
	朝日町長	栗田 康昭	川越町長	城田 政幸
	菰野町長	石原 正敬		

四日市商工会議所

会頭 種橋 潤治

# 北勢バイパスの早期整備について

## 【事業中区間】

### ○市道日永八郷線～国道477号バイパス

開通見通し(目標)の設定

北勢バイパスが国道477号バイパスを通じて、新名神と早期につながることによって、道路ネットワークが飛躍的に向上

### ○国道477号バイパス～国道1号(四日市市采女町)

用地買収促進

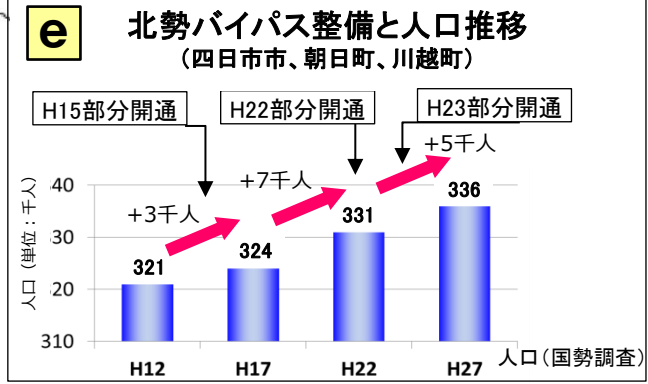
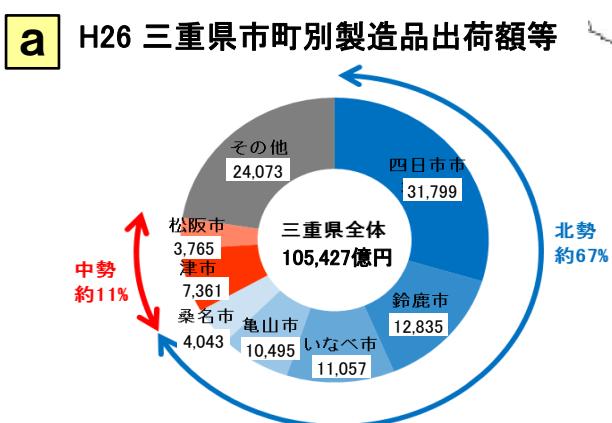
### ○鈴鹿四日市道路(国道1号(四日市市采女町)～中勢バイパス(鈴鹿市稲生町)) 早期事業化

三重県内の道路の南北軸を形成(国道23号とダブルネットワーク化)



# 北勢バイパスの早期整備による効果は絶大！

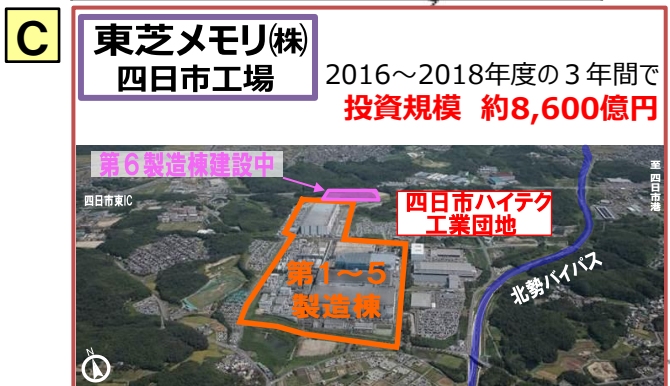
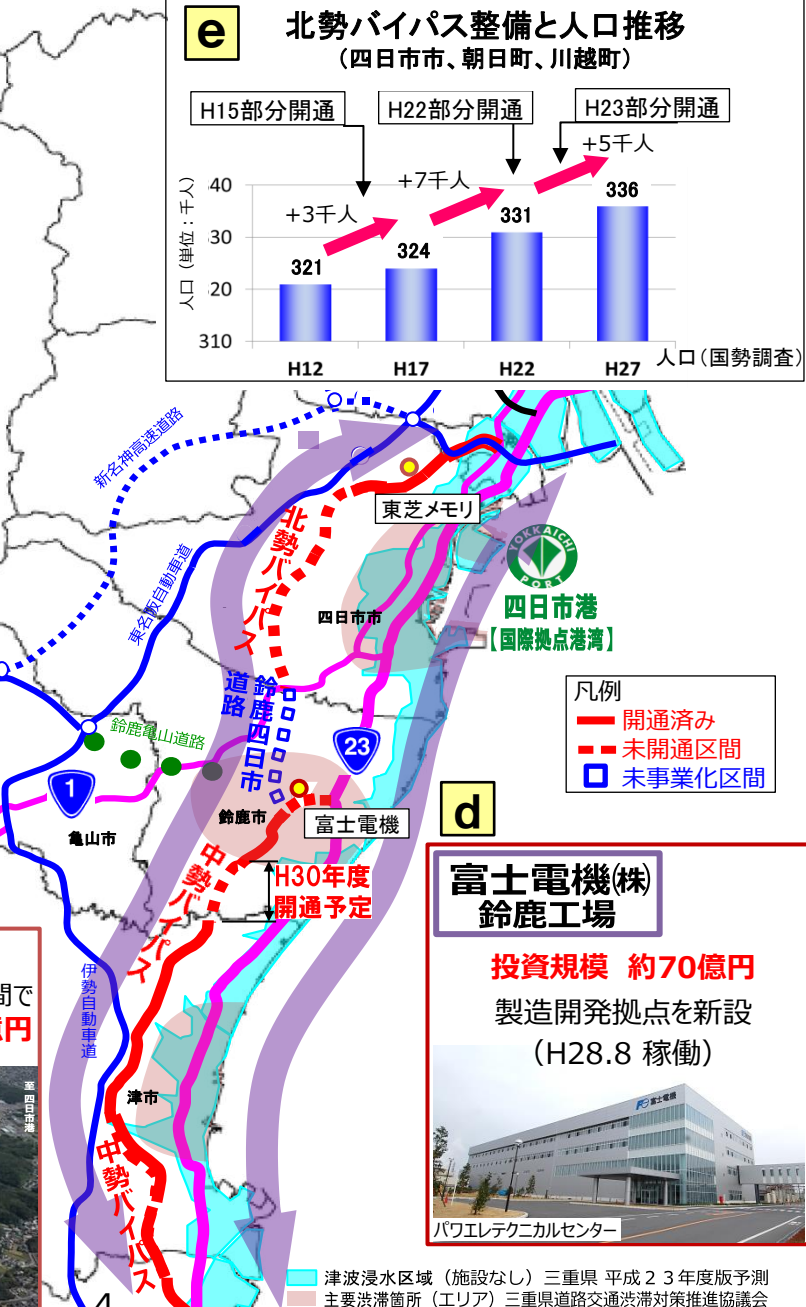
- (1) 三重県の北部(北勢地域)に多くの産業が集積する中で、特に四日市市・鈴鹿市は**産業・物流の拠点地域**。(下記 a, 下記 bを参照)
  - (2) 沿線に企業(工場)の新規立地や設備投資が進展し、**地域経済の発展や人口の増加等、ストック効果が発現**。(下記 c・d, 下記 eを参照)
  - (3) 国道1号、23号の渋滞緩和は、円滑な**産業・物流活動を促進し**、生活環境も向上。
  - (4) 四日市港(国際拠点港湾)の**国際競争力の強化**。
  - (5) 北勢バイパスと中勢バイパスの接続は、三重県内の南北主要幹線道路の**ダブルネットワーク形成につながり、三重県全体への波及効果大**。
- ➡ **生産性向上による成長力の強化！**
- (6) 南海トラフ巨大地震による**津波浸水被害が想定**される国道1号、23号に代わる**緊急輸送道路として機能**。
- ➡ **国土強靱化に寄与！**



**b 全国の都市の中で第9位**

**H26 製造品出荷額等の市町ランキング**

順位	市	人口	製造品出荷額等
1	豊田市	42万人	13兆 847億円
2	市原市	28万人	5兆3372億円
3	倉敷市	48万人	4兆6593億円
4	川崎市	148万人	4兆5484億円
5	横浜市	373万人	4兆3330億円
6	堺市	84万人	3兆8213億円
7	大阪市	269万人	3兆6348億円
8	名古屋市	230万人	3兆5494億円
9	四日市市	31万人	3兆1799億円
10	大分市	48万人	3兆1165億円



津波浸水区域(施設なし) 三重県 平成23年度版予測  
 主要渋滞箇所(エリア) 三重県道路交通渋滞対策推進協議会

北勢バイパス建設促進期成同盟会



SUZUKA

©TEZUKA PRODUCTIONS



KOMONO



YOKKAICHI



ASAHI



KAWAGOE

ひらく つながる みえの未来へ



# 北勢バイパス